

2024年6月17日

各位

会社名 株式会社 富士ピー・エス  
代表者名 代表取締役社長 堤 忠彦  
(コード：1848 東証スタンダード市場、福証)  
問合せ先 執行役員  
管理本部総務部長 大戸雄三  
(TEL. 092-721-3471)

## 「第72回定時株主総会招集ご通知」の一部訂正について

当社「第72回定時株主総会招集ご通知」のうち「事業報告」の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

### 記

#### 1. 訂正箇所

##### 【第72回定時株主総会招集ご通知17頁】

事業報告 1. 企業集団の現況 (1) 当連結会計年度の事業の状況 ①事業の経過及び成果

#### 2. 訂正内容

(下線は訂正部分を示します。)

訂正前	訂正後
以上の結果、当連結会計年度の経営成績につきましては、受注高は土木事業における契約が翌年度へずれ込んだことなどから297億3千5百万円（前連結会計年度比17.7%減）、売上高は手持工事が順調に進捗したことなどから285億6千6百万円（前連結会計年度比6.4%増）となりました。なお、手持工事高は過去最高の526億5千8百万円（前連結会計年度比2.3%増）を確保いたしました。利益につきましては、売上高が増加したことなどから、営業利益は <u>5億6千4万円</u> （前連結会計年度比155.1%増）、経常利益は5億5千万円（前連結会計年度比143.3%増）となりました。また、国道拡幅に伴う土地の収用に係る補償金を特別利益に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は4億1千5百万円（前連結会計年度比236.2%増）となりました。	以上の結果、当連結会計年度の経営成績につきましては、受注高は土木事業における契約が翌年度へずれ込んだことなどから297億3千5百万円（前連結会計年度比17.7%減）、売上高は手持工事が順調に進捗したことなどから285億6千6百万円（前連結会計年度比6.4%増）となりました。なお、手持工事高は過去最高の526億5千8百万円（前連結会計年度比2.3%増）を確保いたしました。利益につきましては、売上高が増加したことなどから、営業利益は <u>5億6千4百万円</u> （前連結会計年度比155.1%増）、経常利益は5億5千万円（前連結会計年度比143.3%増）となりました。また、国道拡幅に伴う土地の収用に係る補償金を特別利益に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は4億1千5百万円（前連結会計年度比236.2%増）となりました。

以上